

調査研究活動

【概要】

技術の体系化と課題解決のために、技術基準事業と調査研究事業を行っています。研究の成果は、関係する会員に配布しています。

【技術基準事業】

国から委託を受け、構造物等の設計・維持管理に関する調査研究を行い、その成果を用いて、技術基準の原案作成を行うとともに、設計実務者等の業務負担を軽減するための設計ツール等を作成しています。

●設計標準の例

- ・コンクリート構造物設計標準
- ・鋼・合成構造物設計標準
- ・土構造物設計標準
- ・基礎・抗土圧構造物設計標準
- ・耐震設計標準
- ・開削トンネル設計標準 他

総研関連
研究室実施

国から委託

調査・研究・開発

技術基準原案

技術基準(解釈基準等)へ反映

合理的な設計

●維持管理標準

- ・鉄道構造物等維持管理標準(構造物編)
- ・鉄道構造物等維持管理標準(軌道編)

技術基準原案作成の位置付け



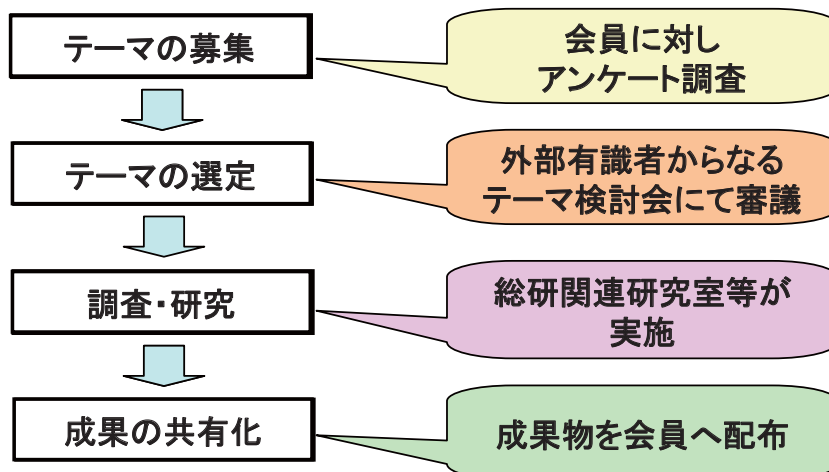
技術基準・同解説



維持管理標準・同解説

【調査研究事業】

会員のニーズに基づいて、安全対策、コスト低減、環境・省エネ対策等、会員に共通する技術的課題をテーマとした、調査研究事業を行っています。



調査研究の流れ

＜過去の調査研究テーマ実施例＞

（１）踏切道の安全確保に関する調査研究

事業者が踏切道の安全確保のために、実施している様々な工夫事例や踏切制御回路の信頼性向上策を調査、収集し、「踏切道における安全対策事例集」としてまとめました。

（平成１８～１９年度）



踏切道における安全対策事例集

（２）レール継目部の改善に関する調査研究

レール継目部の落込み対策として継目板補強頭部アーク溶接法の施工による軌道狂いの抑制効果を明らかにするとともに、レール溶接技術を応用した端部バッター矯正法を施工し、その改善効果を検証しました。

（平成１６～１８年度）



試験施工状況